

第2回

飯南町総合振興計画等評価委員会

第1部会

＜事業名＞

- ・園芸振興対策事業
- ・森林セラピー推進事業
- ・担い手育成総合支援事業
- ・観光協会運営事業
- ・ふるさと応援寄附促進事業
- ・創業支援事業

PDCA進捗管理シート

第1部会

基本施策		総合振興計画 3－1 飯南ブランドの構築							
		総合戦略 3－1 夢と希望の持てる飯南農業の実現 3－2観光関連産業の拡大							
事業名		園芸振興対策事業				事業費	9,745 千円		
事業概要 (計画P)		○高原野菜、果樹生産拡大、栽培技術向上(果樹振興アドバイザー設置) ○販売戦略の構築(i まるシェの運営支援、地産地消システムの構築) ○循環型農業の推進(土壌分析に基づく土づくりの推進) ○冬季の農産物生産(園芸用ハウス暖房システム導入に係る支援)							
実施内容 (実施D)		園芸を振興していくために必要な経常的経費の負担、生産団体への支援などを実施。 ・果樹振興アドバイザーの配置 ・飯南町交流物産館「iまるシェ」への集出荷業務委託 ・園芸用ハウス暖房システム導入への補助金交付							
目標数値 ・進捗状況		①目標事項:産直事業の売上							
		KPI:ぼたんの郷・ぶなの里・i まるシェ・JAでの産直販売額を185,000千円に							
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度(目標値)	備考
		数 値	145,000	148,200	140,544			185,000	H28見込数値
		達成率	－	80.1%	76.0%				
		②目標事項:道の駅・産直市の売上							
		KPI:ぼたんの郷・ぶなの里・i まるシェでの産直販売額を120,000千円に							
			基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度(目標値)	備考
		数 値	93,968	96,863	94,970			120,000	H28見込数値
		達成率	－	81%	79.1%				
平成 28 年度	評価 (C)	【28年度の状況について】 ・現場指導を行うため、果樹振興アドバイザーを配置しぶどう栽培を中心に時期ごとの講習会を実施し、生産量の向上に繋がった。 ・産直市への支援として、iまるシェへの集出荷業務委託の支援を実施し、今年度は集出荷日数の削減を行い運送の効率化を図った。 ・町内で実施された園芸用ハウス暖房システムの導入試験に対して補助金を交付し、暖房システムの有効性を探った。							
		【29年度の取り組みなど】 ・引き続き、栽培技術向上のための果樹振興アドバイザーを配置し、生産者巡回や講習会を実施し、栽培技術向上に繋げる。 ・iまるシェについて、販売額が停滞しているが、定期的なイベント実施による集客や、店舗専属マネージャーの配置により販売状況の分析や生産者への出荷調整などを行い運営の改善を図る。 ・今後試験結果を分析し、暖房システムの有効性が実証されれば町内への普及へ向けて支援体制を整備する。							
	改善 (A)								
		委員会意見	【事業に対する意見】						

PDCA進捗管理シート

第1部会

基本施策	総合振興計画 3-1 飯南ブランドの構築									
	総合戦略 3-1 夢と希望の持てる飯南農業の実現 3-2 観光関連産業の拡大									
事業名	森林セラピー推進事業			事業費	8,851 千円					
事業概要 (計画P)	森林セラピーを中心とした誘客活動により交流人口の拡大を目指す。									
実施内容 (実施D)	・飯南町観光協会へ森林セラピー推進業務を委託(ガイドの手配、情報発信など) ・ガイドの育成(年間5回開催) ・セラピーガイドによるロードにウッドチップの敷設(年間2回) ・森林セラピーシンポジウムinいいなんの開催 ・山陰癒しの森事業共同体による東京・大阪での情報発信・観光誘客									
目標数値 ・進捗状況	①目標事項: 森林セラピー利用者数									
	KPI: 5年後に3,000人/年以上									
		基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度(目標値) 備考			
	数 値	2,110	369	992			3,000 H28見込数値			
	達成率	—	12.3%	33.1%						
	②目標事項:									
	KPI:									
		基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度(目標値) 備考			
	数 値									
	達成率	—	#DIV/0!							
平成28年度	評価 (C)	【28年度の状況について】								
		平成28年6月に開催した森林セラピーシンポジウムinいいなんでは、町民参加型の森林セラピーの啓発を行い、健康増進・健康づくりのための森林セラピーを進める結論となった。平成29年度から地域包括ケア推進局と連携し事業展開を実施する体制整備を行った。一方、飯南町観光協会は、企業と連携した森林セラピーの活用を目指している。ストレスチェック制度の義務化によりヘルスケアに特化したツアーを造成した。								
	改善 (A)	【29年度の取り組みなど】								
		もりのす周辺環境整備は指定管理料を減額し、町直営での整備に変更する。 町民へ普及していないという課題を健康増進・健康づくりに活用することで地域に密着した事業の推進を図る。介護予防分野では森林セラピーを活用してきた実績を生かす。 また飯南町観光協会では、中四国の企業・健康保険組合・労働組合などを対象にツアーを提案し、団体客の入込を目指す。4月にモニターツアーを実施し、7月から本格始動する。								
	委員会意見	【事業に対する意見】								

PDCA進捗管理シート

第1部会

基本施策	総合振興計画 3-2 農林業の振興								
	総合戦略 3-1 夢と希望の持てる飯南農業の実現 3-3 「しごと」場の維持・創出								
事業名	担い手育成総合支援事業				事業費	1,601 千円			
事業概要 (計画P)	施設等の初期投資の軽減、園芸担い手の確保 認定就農者及び農業後継者(半農半X含む)が行う穀物類を除く農業生産活動における施設整備 及び農業用機械の整備費用に対し、予算の範囲内で補助金を交付する。								
実施内容 (実施D)	・農業後継者育成支援事業 認定就農者及び農業後継者(半農半X含む)が行う農業生産活動における施設整備及び 農業用機械の整備費用に対し、予算の範囲内で補助金を交付。 (補助率)施設整備:2/3以内、機械:1/2以内 ・本事業を利用される方で、金融機関への借入金が発生した場合、予算の範囲内で利子を補給。								
目標数値 ・進捗状況	①目標事項:40歳代以下の就農者数								
	KPI:5年後に210人								
		基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度(目標値)備考		
	数 値	208					210		
	達成率	—	0.0%				国勢調査のため毎 年度調査不可		
	②目標事項:農業法人数								
	KPI:5年後に法人30、認定農業者40人								
		基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度(目標値)備考		
	数値(法人)	19	19	19			30		
	達成率	—	63.3%	63.3%			H28見込数値		
平成 28 年 度	評 価 (C)	【28年度評価】							
		・農林業定住研修生を修了した認定就農者2名が、4月からの自営就農開始にあたり、本事業を活用 してパイプハウス、動噴を導入。 ・就農時の初期投資軽減を図り、円滑に就農が開始できるよう、引き続き新規就農者へのハウスや 機械整備への支援を行う。							
	改 善 (A)	【29年度の取り組みなど】							
		・認定就農者2名が、生産規模拡大のため、灌水設備整備、パイプハウス整備に活用予定。 ・H30年2月から認定就農者として自営就農開始予定の研修生が初期投資軽減のため、パイプハウ ス整備、灌水・電気設備整備に活用予定。							
	委 員 会 意 見	【事業に対する意見】							

PDCA進捗管理シート

第1部会

基本施策	総合振興計画 3-3 観光の振興								
	総合戦略 3-2 観光関連産業の拡大								
事業名	観光協会運営事業(加速化事業)				事業費	20,800 千円			
事業概要 (計画P)	飯南町内の観光産業を拡大させるため、飯南町観光協会の支援を行い、旅行者の拡大を図る。								
実施内容 (実施D)	飯南町観光協会へ運営に必要な経費を補助 支援の内容: インバウンド推進、旅行商品造成、情報発信、サイクリング推進、パンフレット作成 (多言語化)など								
目標数値 ・進捗状況	①目標事項: 入込観光客数								
	KPI: 5年後に350,000人								
		基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度(目標値) 備考		
	数 値	293,007	305,086	305,000			350,000 H28見込数値		
	達成率	—	87.2%	87.1%					
	②目標事項: のべ宿泊客数								
	KPI: 5年後に15,000人								
		基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度(目標値) 備考		
	数 値	9,843	11,886	9,800			15,000 H28見込数値		
	達成率	—	79.2%	65.3%					
平成 28 年度	評価 (C)	【28年度の状況について】 インバウンドでは、平成27年度にターゲットを台湾と選定し、今年度は2社がツアー造成され、りんご狩りで9本催行され186名、スキー場で5本催行され129名の集客を得た。ブライダルフォト撮影で8名が6泊された。また、今年度から国際交流員も採用し、英語への翻訳や情報発信に努めていただいた。旅行商品造成では234名の集客(スキー含まず)となっている。サイクリングはレンタサイクルを始め、利用は62名となっている。サイクリングマップを作成し飯南町を周遊していただく取組みも始めた。							
	改善 (A)	【29年度の取り組みなど】 インバウンドについては、台湾の他旅行業社の開拓と新たに香港への営業に努力する。また、国際交流員の協力により神楽の演目を翻訳していただくこととしている。サイクリングについては、子供用レンタサイクルも整備しファミリー層にも利用いただけるよう整備していく。旅行商品については、旅行会社と協力してPR・募集をかける試みもしていく。							
	委員会意見								

PDCA進捗管理シート

第1部会

基本施策	総合振興計画 3-3 観光の振興								
	総合戦略 2-1 地域魅力の発掘・発信								
事業名	ふるさと応援寄附促進事業				事業費	53,865 千円			
事業概要 (計画P)	ふるさと納税制度による寄附者に対し、お礼の品として送る特産品や特典を通じて本町の魅力を発信する。								
実施内容 (実施D)	・ふるさと応援寄附に協賛していただける事業者の発掘 ・お礼の品の追加・PR ・前年度寄附者への寄附金活用報告、リピーター対策								
目標数値 ・進捗状況	①目標事項：ふるさと納税件数								
	KPI: 5年後に12,000件								
		基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度(目標値) 備考		
	数 値	6,789	9,363	2,600			12,000 H28見込数値		
	達成率	—	78%	22%					
	②目標事項：								
	KPI:								
		基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度(目標値) 備考		
	数 値								
	達成率	—	#DIV/0!						
平成27年度	評価 (C)	【28年度の状況について】 上記実施内容に掲げた事項を行うことにより寄附件数・寄附金額の増加を図った。特に、リピーター対策については、2年連続寄附者(平成26年度・平成27年度)の多くから寄附をいただいたことから一定の効果があったと考えられる。 しかしながら、今年度から本格的・大々的にふるさと納税に取り組む自治体が大幅に増加したことによって自治体間競争(PR合戦・返礼率の上昇など)の様相を呈したため、寄附件数・寄附金額ともに伸び悩んだ。							
	改善 (A)	【29年度の取り組みなど】 平成28年度の状況から、PRを強化する必要があると考える。平成29年度は、現在利用しているふるさと納税ポータルサイト(ふるさとチョイス)の契約プランを変更し、また、新たにANAのふるさと納税に加入することによってPRのチャンネルを増やし、寄附件数・寄附金額の増加を図る。							
	委員会意見	【事業に対する意見】 							

PDCA進捗管理シート

第1部会

基本施策	総合振興計画 3-4 商工業の振興											
	総合戦略 3-3 「しごと」場の維持・創出											
事業名	創業支援事業(加速化事業) ビジネスコンテスト等	事業費	13,200 千円									
事業概要 (計画P)	○創業前 ビジネスコンテストの実施、小規模新商品開発支援事業、創業者に対する相談支援体制の充実、イノベーションセミナー等人材育成サポート ○創業後、販路需要拡大期 新産業創出支援事業、創業フォローアップ支援事業											
実施内容 (実施D)	○創業前:ビジネスコンテストの実施3件応募(1件採択)、小規模新商品開発支援事業3件応募(2件採択)、ビジネスコンテストを経由し、創業された企業との相談支援の実施、イノベーションセミナーとして町内企業8社を対象に産業能率大学と連携 ○創業後、販路需要拡大期:新産業創出支援事業(融資条件1/3を必須とし3件採択)、創業フォローアップ支援事業 1月末現在なし。											
目標数値・進捗状況	①目標事項:町内就業者数											
	KPI:5年後に2,800人											
		基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度(目標値) 備考					
	数 値	2,768					2,800					
	達成率	—	0.0%				国勢調査のため毎年度調査不可					
	②目標事項:新規創業企業従事者数											
	KPI:H27-31年の累計が25人 年5人以上目標											
		基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度(目標値) 備考					
	数 値(累計)	23	2	5			25					
	達成率	—	8.0%	20.0%			H28見込数値					
	③目標事項:65歳以上労働力従事者数											
	KPI:5年後に640人											
		基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度(目標値) 備考					
	数 値	610					640					
	達成率	—	0%				国勢調査のため毎年度調査不可					
平成28年度	【28年度の状況について】											
	評価 (C)	創業支援後、事業支援体制として、審査委員に金融機関、日本政策金融公庫、しまね産業振興財団などを加え、審査体制を構築している。この審査会をきっかけに、アドバイザー派遣事業や融資制度の利用など、継続的な支援へ繋がっている。 経営支援後のフォローを行うため、フォローアップ補助金を創設。										
	改善 (A)	【29年度の取り組みなど】 創業前支援:ビジネスコンテストの実施、創業者に対する相談支援体制の充実、創業雇用事業の新設 創業後支援:新産業創出支援事業、創業フォローアップ支援事業、小規模新商品開発支援事業、経営アドバイザー派遣事業の実施										
	委員会意見	【事業に対する意見】										